

令和5年度

常備 災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）
仕様書

高松市消防局

目 次

- I 総則
- II 検査及び検収
- III 提出図書
- IV 主要諸元等
- V ポンプ装置等
- VI 水槽
- VII 車体の構造及びぎ装
- VIII 車載型消防救急デジタル無線装置及び車両運用端末（A V M）
- IX 補足
- X 装備品等

常備 災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）

仕様書

令和5年度

高松市消防局

I 総則

- 1 この仕様書は、高松市（以下「発注者」という。）が令和5年度に発注する災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）（以下「車両」という。）の仕様について定めるものであり、受注者は、この仕様書の内容が全て充足されるよう製作すること。
- 2 車両の納入台数は4輪駆動車を2台とし、令和5年度に製造された新規消防自動車専用シャシにぎ装（水ポンプ装置等）を施し、各種資機材を積載するもの。
- 3 本件受注者は、円滑に車両の製作を進めること。なお、本件は、高松市議会の議決を必要とする契約案件であるため、受注者は議決後、製作に着手すること。
- 4 車両は、日本消防検定協会の消防用車両の安全基準検討会事務局が定める「消防用車両の安全基準について」（平成19年3月）に記載されている消防ポンプ自動車の安全基準を満たしていること。
- 5 外国製品については、提出する全ての書類で日本語以外の言語で記述された書面は、全て日本語に翻訳すること。また、各単位は、SI単位を併記すること。
- 6 車両の装備品、積載品、取付装置等は全て新規製品であること。なお、消防用ホース及び結合金具の装着部は、日本消防検定協会の「ホースに対する品質評価試験」に合格した表示を付したものとする。
- 7 水ポンプ装置は、「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」（昭和61年自治省令第24号）に定める規定に基づくこと。
- 8 車両のぎ装構成材は、日本産業規格品又はこれと同等以上のものであること。
- 9 車両は、「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱」に定める規格に適合していること。
- 10 車両は、四国運輸局香川運輸支局において、ホース及び固定的資機材を積載した状態で新規検査登録を受けること。詳細については落札後、発注者と協議すること。また、新規検査登録に要する費用で発注者が負担するものは、自賠責保険料のみとする。
- 11 受注者は製作に先立ち、この仕様書に基づき発注者と製作上の細部にわたり十分打合せの上、次の製作承認図を車両ごとに提出し、発注者の承認を受けること。
 - (1) シャシ諸元表 2部
 - (2) シャシ3面図 2部

(3) シャシ構造計算書	2部
(4) 製作5面図	2部
(5) 装備品及び積載品配置図	2部
(6) ポンプ関係、配管図	2部
(7) 水槽構造図	2部
(8) 電気配線図	2部
(9) 工程表	2部

12 受注者は、契約後に疑義が生じた場合又は製作の進行に伴い不審な点が生じた場合は直ちに発注者と協議し、訂正があった場合は速やかに訂正した製作承認図を提出し、発注者の承認を受けるものとする。なお、製作上必要な材料や作業等は受注者の負担とする。

13 応札する車体について、シャシ選定書を必ず提出すること（シャシ選定審査を通過していない者がした入札は無効とする。）。

II 検査及び検収

1 中間検査

受注者の責任の下、工程表に基づき検査を実施し、検査工程を写真に撮影したものを当該検査終了後、10日以内に発注者に提出すること。また、事前に検査日時を発注者に連絡すること。

2 完成検査

受注者の責任の下、納入前に仕様書に基づき検査を行うこと。

3 検収

(1) 発注者は納入時に走行性能を確認し、本仕様書に基づき車両、ぎ装及び装備品について検収を行う。

(2) 検収を受けようとするときは、検収希望日の20日前までに発注者に連絡し承認を得ること。

(3) 検収時に協議事項があった場合は、速やかに協議事項報告書を提出すること。

III 提出図書

完成納入時、次の書類を車両ごとに提出すること。

1 自動車検査証写し	2部
2 緊急自動車届出確認書写し	2部
3 車両取扱説明書	2部
4 車両登録後の写真（前後左右、斜前、斜後）	2部
5 完成5面図（構造、配管、配線図を含む。）	2部
6 ポンプ取扱説明書	2部

7	ポンプサービスマニュアル	2部
8	ポンプ性能検査表	2部
9	改造自動車等届出書	2部
10	各重量分布計算書	2部
11	重量実測証明書	1部
12	転覆角度実測証明書	2部
13	制作中の各工程及び各試験中の写真	2部
14	使用電球型式等一覧表（写真入り）	2部
15	使用ヒューズ型式等一覧表（写真入り）	2部
16	納品内訳書	1部

IV 主要諸元等

1 エンジン諸元及び駆動

- (1) 水冷4サイクルディーゼルエンジン
- (2) 平成28年排出ガス規制適合車であること。
- (3) 総排気量 4, 100cc以下
- (4) 最高出力 110kw (150ps) 以上
- (5) 駆動方式 4輪駆動（低床）
- (6) 変速装置 マニュアルトランスミッション5速以上
- (7) フルパワー又はフライホイールPTOとする。

2 車両規格

- (1) 消防自動車専用シャシで、諸元は最新のものであること。
- (2) ダブルキャビン型で乗車定員5人以上とすること。
- (3) 許容車両総重量 7, 000Kg 以上であること。
- (4) 全長 5, 800mm以下
- (5) 全幅 1, 920mm以下
- (6) 全高 2, 900mm以下
- (7) ホイルベースは、2, 700mm以上3, 000mm未満とすること。
- (8) 燃料タンク 60リットル以上とすること。

3 電装

- (1) バッテリー 蓄電容量24V-83AH (5HR) 以上
- (2) オルタネーター 24V-80A以上
- (3) キャブチルトは電動油圧式とし、はしご昇降装置が収納状態の時に操作できないよう安全装置を取り付けること。
- (4) オイルパンヒーター（サーモスタット付き）を装備すること。

4 装備

- (1) エンジン回転計
- (2) エンジン水温計
- (3) エンジン油温計
- (4) エンジン稼働積算計
- (5) 純正エアコン（可能な限り後部座席方向にも吹き出し口を設けること）
- (6) 純正ラジオ（時計表示付）を取り付けること。
- (7) 車両後方を常時確認できるバックモニターを取り付けること。
- (8) 車外の前後方を常時録画するドライブレコーダー（32GB以上に対応）を取り付けること。
- (9) 運転操作（左折、後退）と連動した音声アラーム（解除スイッチ付き）を取り付けること。
- (10) ABSを装備すること。
- (11) ヘッドライト（LED又はHID）
- (12) 室内灯（LED）
- (13) エンジン室内灯（LED）
- (14) サンバイザー
- (15) サイドバイザー
- (16) パワーウインドウ
- (17) フォグランプ
- (18) フロアマット
- (19) 標準工具

V ポンプ装置等

ポンプ装置は、ポンプカバー等をアルミ製とし、その他の部分についても可能な限りアルミ材を用い軽量化を図ること。

1 ポンプ規格

ポンプ級別 A-2 1段ボリユート式又は高圧2段バランスタービンポンプ

2 動力伝達装置

シャシメーカー純正のPTOとし、容易に動力の取り出しができ、ポンプグランド部軸封装置はメカニカルシール式とすること。

3 真空形成装置（真空ポンプ）

- (1) 無給油式真空ポンプとすること。
- (2) 真空ポンプは、無給油ピストン方式又は無給油ロータリー方式を用い、電磁式クラッチにより動力を伝達する構造とすること。

- (3) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、揚水完了後は自動的に停止すること。また、非常時用の別系統スイッチ（小径アナログ連成計付）を設けること。

4 ポンプ操作装置及び計器類

容易に取扱い及び確認が行える位置に配置し、計器類と一体化した集中操作盤とする。なお、次の内容を満たすこと。

(1) ポンプ操作装置

ア ポンプスロットルは電子式スロットルとし、誤操作防止のため両側とも右回しでスロットルアップとする。また、非常時用の別系統スイッチ（小径アナログ圧力計付）を非常時用の真空ポンプ操作部と同一場所に設置すること。

イ エンジン回転固定中、エンジン回転をアイドリング状態まで下げる緊急停止機能を備えていること。

(2) 計器類

ア ポンプ圧力計及びポンプ連成計

ポンプ圧力計及びポンプ連成計は、電子指針式とし、左右に各1個ずつ取り付けること。

イ 液晶モニター

(ア) 自動調圧装置及びスロットル固定機能が設けられていること。

(イ) ポンプの吸水から吐水までの一連の水流の状況をフローシート式に表示し、各コック及びバルブの開閉状況も表示していること。

(ウ) ポンプ回転計・流量計・積算流量計及びポンプ使用時間計をモニター内に表示できること。

(エ) ディスプレイ内の各表示切替えはボタン式等で行えること。

(オ) 各種警報機能として、冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示及び警告音を発すること。

5 冷却装置

(1) 冷却装置は水冷式とすること。

(2) 冷却配管については、ギヤケース・補助クーラーの配管を1～2系統にまとめ、メインバルブ及びサブバルブを設けること。また、冷却装置は、吸水側へ還流かつ切替えにより車外に排出する構造とし、通水状態の確認及び清掃が容易にできるストレーナキャップを設けること。

6 吸水口

(1) ポンプ室左右に呼称75mmボール式コック（ストレーナ付）を各1箇所設け、左側は超軽量吸管（長さ10m）を常時接続した渦巻収納式とし、右側は呼称75mmの棒吸管を取り付け可能な構造とする。なお、自在式エルボーを取

り付けること。

- (2) 各吸水口は放水停止することなく吸水管から取水可能なエゼクタバルブを左右に設置していること。
- (3) コックは全て車両の進行方向で開放とすること。
- (4) 左側吸管収納部の止め金具は下開きとすること。

7 吐水口

- (1) ポンプ室左右に呼称65mmボール式コックを前後各2箇所にて設けること。
- (2) 前方は、吐水口媒介65mm・50mm（マルチ型）を設置し、後方は、吐水口媒介65mmを設置すること。
- (3) コックは全て車両の進行方向で開放とすること。

8 中継口

- (1) ポンプ室左右に呼称65mmボール式コック（ストレーナ付）を各1箇所設け、65mm差込メス媒介にオスキャップを取り付けること。
- (2) コックは全て車両の進行方向で開放とすること。

9 凍結防止装置

寒冷時に主ポンプ等主要部の凍結を防止するため、不凍液を吸入させる装置を設けること。

VI 水槽

- 1 水槽は、ポンプ室前部に設置し、容量600リットル以上で合成樹脂（PP・FRP）又はステンレス製水槽とすること（容量は別途協議）。
- 2 水槽内部は、取外し可能な防波板を設けること。また、上部にマンホールを設け、蓋は防錆、軽量及び開閉が容易な構造とし、漏水防止のための対策を施すこと。
- 3 積水口は、左右のポンプ室内に呼称65mmボール式コック（ストレーナ付）を各1箇所設け、65mm差込メス媒介にオスキャップを設けること。
- 4 オーバーフローパイプ（65mm）及び水槽下部にドレンを設けること。
- 5 水量計（アクリル製）を水槽の左右に取り付け、内部に浮子（蛍光フロート）を設置し、周囲をステンレス管で保護すること。また、水抜きバルブ及び照明を取り付け、水槽内の水量が把握できるようステンレス管に100リットル単位を目盛りを入れること。
- 6 水槽とポンプの吸水側との間に75mmボールコックを設け、可撓管継手を介して配管すること。また、ポンプの吐水側から水槽へ送水できる構造とする。
- 7 車両の重量バランスを十分考慮し、配置すること。

VII 車体の構造及びぎ装

- 1 車体の構造

- (1) 荷台部は、箱型に組み、堅牢で十分な耐久性を有するものとし、骨組みは自立式で、側板等に直接大きな荷重がかからない構造とすること。
- (2) 荷台部は、走行中の振動及びねじれに十分対応できること。
- (3) 防錆、防水性を有するよう製作するとともに軽量化を図ること。

2 ギ装

ギ装構成材は、必要に応じ防食処理を施し、可能な限り軽量化が図られたものを使用すること。なお、フロアステップ、バンパー上部、リアフェンダー上部はアルミ縞板等で防錆、滑り止め処理を行うこと（施工箇所は別途協議）。なお、ギ装材料の厚さは次によるものとする。

側板	1. 6mm以上
サイドエプロン	1. 2mm以上
フェンダー	1. 0mm以上

(1) キャビンのギ装

ア キャビン前面

中央部に消防章、左右側に赤色点滅灯（散光式警光灯と連動）を取り付けること。

イ キャビン側面

- (ア) アースボンディングを取り付けること。
- (イ) 助手席から容易に後方確認ができるよう隊長ミラーを取り付けること。
- (ウ) 前席及び後部席乗降用ステップは、サンドペーパー様の滑り止め加工を施し、また、乗降時、接触等により塗装に損傷を与えるおそれのある個所にアルミ製プロテクター等を取り付けること。
- (エ) 乗降時の安全確保のため左右のセンターピラー及びリヤピラーに乗降用のグリップを設けること。
- (オ) 各ドア底部にLEDフットランプ（スモールと連動）を取り付けること。
- (カ) バッテリーボックスは引出し式とし、上面をステップとして使用する場合はアルミ縞板等で覆いを設けること。また、引出した時にロックが掛けられる構造とすること。
- (キ) バッテリーボックス反対側には、資機材収納ボックスを設置すること。ただし、シャシの構造上、当該ボックスの設置ができない場合は、発注者と協議の上、当該ボックスを設置しないことができる。
- (ク) 車両バッテリーの過放電を防ぎ、常にバッテリーを最良の状態に保つバッテリー管理器を設置すること。また、バッテリー管理器及びオイルパンヒーターは、防雨対策を施したパナソニック製マグネット式電源インレット

WCH1710に接続し、パナソニック製電源コネクタWCH1720より給電するものとし、接続時、キャビン内に取り付けたAC100Vコンセントが使用できる構造とすること。

なお、オイルパンヒーターにはON・OFFスイッチを付けること（詳細については別途協議）。

ウ キャビン上部

(ア) ルーフ前方に散光式警光灯を取り付けること（取付位置については別途協議）。

(イ) ルーフ後方は、アルミ製縞板ボックス（ダンパー付扉）を取り付けること（サイズについては別途協議）。

エ キャビン内部

(ア) 運転席ダッシュボード中央付近に、リレー式バッテリーメインスイッチを取り付けること（銘板を設置）。

(イ) キャビン中央天井部に室内灯（運転席への照射保護付LED照明）を1個取り付けること。

(ウ) キャビン中央天井部にパンチングタイプのルーフコンソールを設置し、吊下げ方式で携帯拡声器1個を取り付けること。

(エ) 助手席側フロントピラーにLEDマップランプ（エンジンキーと非連動）を取り付けること。

(オ) 助手席のシートバックは空気呼吸器ホルダーを取付けのため、空気呼吸器ホルダー対応シートを取り付けること。

(カ) 運転席と助手席の間にセンターコンソールボックスを設置し、無線機、電装スイッチ及びAVMモニターを取り付けること。電装スイッチ類は、銘板及びパイロットランプ付とすること。また、DC/ACインバーター（定格300W）を設置し、センターコンソールボックス付近にAC100Vのコンセント2口を取り付けること（取付位置については別途協議）。

(キ) 後部座席の背面は、キャブバックボックス加工で空気呼吸器ホルダーを3基取付け、左右にフックを各1個（計6個）取り付けること。

(ク) 後部座席は、背もたれを腰高カットとし、座席下部を収納庫とするためシートライザー扉付とすること。

(ケ) 後部座席前方は、センターピラー部にステンレスパイプを施し、ステンレスS字フックを5個以上取り付けること。また、パイプから下部にパンチング加工のパネルを設置し、パイプ中央部に地図等収納ボックス（A3版）を取り付けること（ゼンリン2冊以上収納）。

- (コ) 座席シートは、耐久性を考慮した網目入り防汚ビニールシートカバー又は防汚シートカバーで被服すること。
- (サ) 天井部は、容易に電装品、配線等の点検が行えるようにすること。
- (シ) 後部座席から操作できる位置に、広報用マイク及びモーターサイレンスイッチを設けること（取付位置は別途協議）。

(2) 荷台部のぎ装

荷台部は、上部をアルミ製縞板、側面は左右にシャッターを各1枚とすること。各シャッターは、車体色のアルミ合金製バーシャッターとし、前部がポンプ室及び資機材収納スペース、後部は吸管及び資機材収納スペースとすること。また、後面は加納式ホースカー及び資機材収納スペースとする。なお、積載品等が走行中の振動等により、移動、損傷及び脱落が生じないように確実に取付けることとし、容易に取外しができる構造とすること。

ア 荷台上部

荷台上部は、床面をアルミ製縞板とし、右側に資機材収納用のアルミ製縞板ボックス、左側に三連梯子の積載スペース、中央部を通路とする。

- (ア) 荷台上部は周囲にアオリ等、転落防止柵を設け、中央部の通路はアルミ製縞板に滑り止め加工を施すこと。
- (イ) 荷台の左右アオリ内側に埋め込み式照明（LED）を取付け、外部スイッチにより荷台上部を照らすこと。
- (ウ) ポンプ、水槽等、重要箇所のメンテナンスが行えるよう点検口を設けること。
- (エ) 資機材収納ボックス（取外し可能、ダンパー付扉）は、外開きとすること（サイズ等は別途協議）。
- (オ) ステンレス製三連はしご（7.4m）は、シーソー式積載装置に取付けること。
- (カ) 荷台上部の前側に伸縮式サーチライト（LED）を取り付けること（取付け場所等は別途協議）。

イ 荷台前面

荷台前面のキャビンとの空きスペースに短とび口、長とび口及び車輪止めを取り付けること（取付け場所等は別途協議）。

ウ 荷台側面

- (ア) 前部シャッター内のポンプ室は、側板を密閉式とする。ポンプの点検及び手入れは、容易に行える構造とすること。また、収納スペースを設け、ホース等を収納できること（収納スペースは別途協議）。

- (イ) 前部シャッター下部は、収納ボックスを設け、収納ボックス及びタイヤハウスは、下開きに展開するステップ（チェーンレス）とすること。
- (ウ) スタンドパイプ、消火栓開閉金具等の取水用具を1箇所にとめて収納できるようにすること。
- (エ) 荷台側面上部に、強力LED作業灯を前後の2箇所に取り付け、キャブ内スイッチ及び外部スイッチにより、左右別々に点灯できること。また、散光式警光灯と連動するLED赤色点滅灯を前後の2箇所に取り付けること。
- (オ) 荷台側面後端部の上下にLED車幅灯を埋込式で設けること。
- (カ) 右側面後部は資機材を効率よく収納できる構造とし、資機材棚を設ける場合は、上下に区画した分割仕切板とし、上下に移動が可能な構造とすること（詳細は別途協議）。

エ 荷台後面

- (ア) 上部左右2箇所に強力LED作業灯を取り付け、キャブ内スイッチ及び外部スイッチにより点灯できること。また、散光式警光灯と連動するLED赤色点滅灯を左右2箇所に取り付けること。
- (イ) 右側に昇降用アルミ製展開式はしごを設け、踏面にサンドペーパー様の滑り止め加工を施すこと。また、はしごを展開したとき、荷台右側に荷台上部床面より約30cm程度高くした手摺を設置すること。
- (ウ) 中央部は、電動アシスト付き加納式ホースカー（65mmホース8本以上を収納し、上部にホースバッグを2個程度積載でき、管鎗及び媒介立て付きのもの）をホースカー昇降装置に取り付けること。また、ホースカー上部には、予備ポンベや消火器等を収納すること。

オ その他

- (ア) キャビン後部右側に荷台上部への昇降用タラップを設けること。
- (イ) 各収納ボックス内は、積載品の脱落防止策を講じること。また、現物に見合った固定装置を使用し、取付け及び取外しが容易にできる構造とすること。また、各収納スペース及びラックごと有効な位置に省スペースLEDライトを設け、反射光量を考慮しボックス内はすべて銀色塗装を施すこと。
- (ウ) ポンプ室内灯（LED）を設置すること。
- (エ) 各収納ボックスは、雨水等が侵入しない構造とし、底部にスノコを敷き排水措置を講ずること。
- (オ) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称、操作方法等明記する銘板を貼付すること。
- (カ) 省電力化のため、車両の灯火類（前照灯、方向指示灯、制動灯等）は可能

な限りLEDとすること。

(キ) 燃料タンクは、シャシメーカー正規の位置とする。また、給油口には油種の銘板を設置すること。

(ク) 散光式警光灯等全ての電装品に関して、メンテナンス、操作性及び互換性を考慮し同一メーカーとすること。また、独立した電装専用ヒューズボックスを設けること。

(ケ) タイヤは、全輪オールシーズンタイヤとすること。

(コ) ホイール付きスタッドレスタイヤを附属すること。

(サ) 坂道等で車両最後部下部を擦らないようディパーチャーアングルを確保し、ぎ装取付についても考慮すること（詳細は別途協議）。

VIII 車載型消防救急デジタル無線装置及び車両運用端末（AVM）

1 共通事項

(1) 車載型消防救急デジタル無線装置（以下「無線機」という。）及び車両運用端末（以下「AVM」という。）を発注者が指示する位置へ新設又は移設すること。また設置後に発注者立会いのもと総合試験を行うこと。

(2) 本業務に伴い発生する費用については、全て本案件の入札金額に含めること。

2 無線機関係について

(1) 発注者が指示する位置に以下のものを設置、配線すること。

ア 無線機取付け金具

イ 無線機本体

ウ 共用器

エ 送受話器（金具含む。）

オ 空中線（アンテナ、基台含む。同軸ケーブル無線機本体設置位置まで配線すること。）

カ 無線遠隔制御器

キ スピーカー

(2) 無線機用電源等（アクセサリ信号及び＋・－バッテリー 容量5A程度）を車両から取り出し、無線機本体付近へ配線すること。

(3) 上記無線機関係の設置位置、機器の仕様、高松市消防局指定品部材等については、発注者及び受注者において協議するものとする。

3 AVMについて

(1) キャビン内前部の発注者の指定するAVM本体設置位置付近に、AVM用の信号線として、＋・－バッテリー、アクセサリ信号、イグニッション信号、後退信号及び車速信号を接続した端子台を用意し、AVM本体固定金具を設置する

こと。

- (2) キャビン内ダッシュボード上の発注者の指定する位置に、GPSアンテナを設置すること。
- (3) 無線遠隔制御器付近に外部設定器を取り付けること。
- (4) 上記AVM設置が完了した後に、センサー類及びAVM回線の調整、試験を実施し、運用可能状態にすること。
- (5) 上記AVM関係の設置位置、機器の仕様、部材、支給品等については、発注者及び受注者において協議するものとする。

Ⅹ 補足

- 1 車両は、前後輪の許容軸重限度、タイヤ最大負荷能力及び車両総重量を超えないように製作すること。
- 2 ギ装等については、製作承認図作成前に発注者と別途協議をすること。
- 3 車体は特殊化学液で充分錆落しした上、リン酸塩被膜を形成後、プライマー、パテ、水研ぎ、サフェーサーを行い、熱風乾燥炉にて充分乾燥させ、赤色ハイソリッドラッカーで3回以上の吹き付けを行い、再び熱風乾燥炉で充分乾燥させる。
- 4 ステップは銀色塗装又はアルミ製縞板とする。
- 5 ポンプ室はメーカー標準色塗装とする。
- 6 車体下回りは黒色塗装とし、入念な防錆対策を施すこと。
- 7 各種記名については次のとおりとする。
 - (1) 車体 右左後ドア、後部（又はホースカー）「高松市消防局」 白色（反射）
右左前ドア上部 「PI2403・中」 白色（反射）
(4桁の数字は登録年・月)
 - (2) 車体前後、右左前ドア 「円座」「山田」 白色（反射）
 - (3) 標識灯（散光式警光灯内） 「南消防署」「東消防署」 黄色に黒字
 - (4) 対空標識 キャビン上部 「高P4」「高P7」 黒色
 - (5) 左右シャッター「TAKAMATSU CITY FIRE BUREAU」 白色（反射）
 - (6) 各装備品に貼付用「円座車」「山田車」シールを各30枚作製すること。
 - (7) 書体、記名場所及び文字の大きさについては、別途協議とする。
 - (8) 法令に反しない範囲で再帰性に富んだ反射材を貼付し、夜間の電源消失時に自車の被視認性が確保されるようにすること（貼付場所は別途協議）。

8 保証期間

契約不適合責任については高松市物品供給（総価契約）契約約款第16条のとおり。また、検収中に故障、破損等があった場合においては、その修理等に要する一切の費用は受注者の負担とする。

なお、車両本体、ぎ装部分を構成する各機器（器具）及び装備品におけるメーカー保証については当該保証期間による。

9 研修

納入後、発注者が行う構造及び取扱方法の研修（全2回）において、受注者は入念な指導を行うこと。

10 修理メンテナンス

本調達車両は緊急車両であるため、故障等により運用が不可能な状態を最小限に抑える必要があることから、受注者は納入後に不具合等が発生した場合のメンテナンスにおいて、速やかに必要部品等の供給、修理に必要なメンテナンス体制を確立できるよう、メンテナンス体制連絡系統表（リードタイム入り）を提出すること。

11 受注者が、シャシ調達又はぎ装施工のいずれかを第三者に委託する場合は、あらかじめ再委託承諾申請書を提出し、発注者の承諾を得た上で、シャシ納入者及びぎ装施工者の責任範囲を明確にし、責任範囲について書類で提出すること。

12 車両及び積載品の燃料は満タンとすること。また、尿素水（アドブルー等）使用の車両は、尿素水を満タンとすること。

13 本契約締結後、やむを得ない事由（マイナーチェンジを含みます。）により選定した商品（装備品、積載備品含む。）の型番が変更となる場合は、後継商品への変更を認めます。ただし、書面により発注者の承諾を受けることとし、変更した事由（発注者の責めに帰すべき理由により契約金額の変更を要する場合を除きます。）にかかわらず、契約金額の変更は認めません。

X 装備品等

装備品、附属品及び積載品については、仕様書に記載のもののほか「装備品等一覧表」のとおりとする。

納入期日 令和6年3月22日 午後5時

納入場所 高松市消防局の指定する場所

装 備 品 等 一 覧 表

【1台当たり】

番号	品 名	規 格	数量	同等 品可
1	エンジン計器類	回転計、水温計、油温計、稼働積算計	1式	
2	エアコン	リアクーラー又は後部座席方向吹き出し付	1式	
3	純正ラジオ	時計表示付き	1式	
4	バックモニター	ルームミラー内蔵型又は同等品	1式	○
5	ドライブレコーダー	車外の前方及び後方録画（別途協議） 予備メモリー付(32GB以上)	1式	
6	音声アラーム	左折、後退（解除スイッチ付）	1式	
7	ヘッドライト	LED又はHID	1式	
8	キャビン中央部照明	運転席照射保護板付LED照明	1基	
9	エンジン室内灯	純正品又は同等品（LED）	1式	○
10	サンバイザー	運転席、助手席	1式	
11	パワーウインドウ	全ドア	1式	
12	サイドバイザー	純正品（全ドア）	1式	
13	フォグランプ	フロントバンパー埋め込み式	1式	
14	フロアマット	純正品	1式	
15	車両標準工具	純正品	1式	
16	キャブチルト装置	電動油圧式	1式	
17	オイルパンヒーター	サーモスタット付	1式	
18	24V全自動電子バッテリー管理機	CTEK (MJS25AL)、BOSCH Battery-Charger C-7 又は同等品	1式	○
19	マグネット式インレット及びコネクタ	パナソニック製 WCH1710 WCH1720	1式	
20	メインスイッチ	純正品	1式	
21	タイヤ	オールシーズンタイヤ(スペアレス)	6本	
22	スタッドレスタイヤ	ホイール付(スペアレス)	6本	

23	タイヤチェーン	シングル、バンド付	1式	
24	防汚シートカバー	純正品又は同等品	全席	○
25	隊長ミラー	純正品	1式	
26	停止表示板		2個	
27	インバーター	DC/AC対応（定格300W） 2口付	1基	
28	空気呼吸器ホルダー	助手席1か所（シート内蔵型、クイックホルダー又は同等品）	1基	○
29	空気呼吸器ホルダー	後席3か所（クイックホルダー又は同等品）	3基	○
30	マッドガード		全輪	
31	ポンプ圧力計	電子式アナログ表示式左右	1式	
32	ポンプ連成計	電子式アナログ表示式左右	1式	
33	ポンプ回転計	左右	1式	
34	ポンプ使用時間計	左右	1式	
35	流量計	左右	1式	
36	積算流量計	左右	1式	
37	散光式警光灯	大阪サイレン製作所 NP-L-VK2M-C2型 標識灯付、モーターサイレン内臓又は同等品 W1, 550~1, 650mm H120~160mm D300~400mm	1式	○
38	赤色点滅灯（散光式警光灯と連動） LED	・車両前面 LFA-100 LED型 2個 ・車両後面 LFA-160 LED型（プロテクター付き） 2個 ・車両側面（左右）LFA-200 LED型 各2個 又は同等品 W. 200~250mm L. 40~45mm D. 45mm以下	1式	○
39	電子サイレン・アンプ	大阪サイレン製作所 MK-D1 TSK-D152（消防車用）又は同等品 渋滞時等、他の車両への注意喚起機能が付いていること（モーターサイレン等）。	1式	○
40	集中操作スイッチ	SBW-D1 10連スイッチ(24V) 又は同等品	1式	○

41	消防マーク	消防用	1個	
42	作業灯	・ 荷台上部アオリ内側(左右) LIA - 200 LED型 (プロテクター付き) 各2個 ・ 車両側面(左右) LIA - 200 LED型 各2個 ・ 車両後面 LIA - 200 LED型 2個 又は同等品 W210~250mm L70~75mm D45mm以下	1式	○
43	サーチライト	フラッシュボーイ ポールLED 又は同等品 W400~420mm L1,600mm D120mm以下 (ライト本体及び取付台含む)	1式	○
44	計器用照明灯	左右 (LED)	1式	
45	ポンプ室内灯	純正 (LED)	1個	
46	吸管	超軽量吸管 (75mm×10m) 小型消防ポン プ兼用	1本	
		棒吸管 (75mm×2.4m程度) ※棒吸管的連結部の金具は別途協議とする。	4本	
47	スタンドパイプ	YONE 安全型スタンドパイプ 不動 PS-65F・800 又は同等品	1個	○
48	吸管枕木	ワンタッチゴム製	2個	
49	吸管スパナ		2個	
50	吸管用ストレーナ	プラスチック製	2個	
51	中継口用ストレーナ	プラスチック製	2個	
52	積水口用ストレーナ	プラスチック製	2個	
53	管鎗 (スーパースト リーム)	YONE 65mm (ショート型) × 1本 50mm (ショート型) × 1本 又は同等品 L500~550mm	各1本	○
54	筒先	YONE ダブコンマーク II 又は同等品	2個	○
55	クアドラフォグノズル	YONE NH-50QF YONE NH-40QF 又は同等品	各1個	○

56	ホースブリッジ	大阪サイレン製作所 CB450又は同等品	2組	○
57	車輪止め	ゴム製 取手付	4個	
58	媒介金具 (同等品可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50メス×40オス (1個) ・ 40メス×50オス (1個) ・ マルチ双口媒介65×50・40 (1個) ・ 65内ネジ×65町野メス(角付 可搬中継用) (1個) ・ 75内ネジ×65町野メス(消火栓用媒介) (2個) ・ スイーベル吐水口媒介 65ミリ (2個) ・ MCスイーベル吐水口媒介 65・50ミリ (2個) ・ 東京サイレン (TS-3053) (2個) ・ 65内ネジ×65町野メス (中継口・タンク積水口媒介) (4個) ・ 給水栓付き町野メスキャップ65A (1個) 	1式	○
59	照明器具 (同等品可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電機 最新ホンダEU9I ・ フラッシュボーイ LED-EV II Q11 W260~300mm L200~240mm D300mm以下 (本体、取付台、専用三脚、コード、収納 袋) 	1式	○
60	昇降用ラダー(後部)	折りたたみ式	1式	
61	消火器	自動車用ABC粉末10型	1個	
62	三連はしご シーソー式取付金具	ステンレス製はしご7.4m 搬送用キャスター付	1セット	○
63	ラインプロポーション	YONE モデル FP-40・360	1個	
64	長とび口	1.8m 木製	2本	
65	短とび口	1.0m 木製	2本	
66	消火栓開閉金具	地下式消火栓開閉用MH75型又は同等品	1本	○

67	加納式ホースカー (電動アシスト付)	加納式アルミ製 (65mmホース8本以上) ブレーキ付、管鎗・媒介取付け金具付	1式	
68	後輪灯	左右 (LED)	1式	
69	拡声器	ノボル電機TS-533L又は同等品	2個	○
70	消防用ホース(カラー)	65mm×20m 1. 6MPa	10本	
71	消防用ホース(カラー)	50mm×20m 1. 6MPa	10本	
72	消防用ホース(カラー)	40mm×20m 2. 0MPa (ダブルジャケット)	30本	
73	空気呼吸器	ライフゼムA1-12 (CX面体) 面体収納袋、 保護フィルム付	4基	
74	空気ボンベ	重松製作所 ブルネッカー 530C II AG (4.7) T-041 保護キャップ付き	8本	
75	防水シート	3.6m×3.6m (テント生地) 2枚	1式	
76	ガソリン携行缶	5リットル用	1缶	
77	バスケットストレッチャー	FERNO MODEL71 (プロシリーズリッターハーネス・カラビナ5個付) 又は同等品	1セット	○
78	ホースカーリフト	極東開発工業 MLO2-11ST 又は同等品	1式	○
79	ホースバック	FS1型又は同等品	4個	○
80	補修用塗料	車両同色	1式	
81	スコップ	剣先	1本	
82	活線ボルトクリッパー	ZBC-600又は同等品	1個	○
83	携帯ライト	GENTOS UT-618R又は同等品	2個	○
84	泡ノズルアタッチメント (クアドラノズル用)	YONE LXフォームジェット (FN-50QLX) YONE MXフォームジェット (FN-50QMX)	1式	
85	携帯警報機	ドレーゲル ボディガード1000	4個	
86	小型消防ポンプ (C-1級)	トーハツVF21B又はシバウラFT300M (標準工具、予備プラグ4本付)	1式	

87	工具セット	モノタロウ工具セット両開きタイプ MONO 009 又は同等品	1式	○
88	トランシーバー	特定小電力トランシーバー スタンダードホライズン SRS210S バッテリー、充電器付き	4組	
89	つるはし(小)		1本	
90	手鉤	マンホール用 Jフック	2本	
91	伸縮式三角コーン	反射テープ付 700mm型	3個	
92	自動体外式除細動器	AED-3100	1台	
93	使い捨てパッド	P-740	2枚	
94	バッテリーパック	SB-310V	1個	
95	AEDトレーニング ユニット	TRN-3100	1台	
96	訓練用使い捨てパッド	YZ-061H5	5枚	
97	ガラス破壊器具	ワコー商事 グラスマスター WGM-3	1式	
98	破壊器具	ライトレスキュー ハリガン&アックス&マリードストラップ セット	1式	
99	耐電手袋	渡部工業 高圧ゴム手袋 429-9604	2組	
100	面体保護テープ	ダイワプロタック 厚さ0.07mm×幅150mm×100m巻き	10巻	
101	検電チェッカー	長谷川電機工業 HEV750D	1個	

※ 以下の装備品については、既存車両のものを流用し使用するため、ぎ装の荷台部に収納できるようスペース確保について考慮すること。

番号	品名	規格	数量
1	媒介類	65オス×65オス	1個
		65メス×65メス	1個
		65メス×50オス	1個
		50メス×50メス	1個
		50オス×50オス	1個
		マルチ双口媒介65×65・50	1個
		マルチ双口媒介65×50・40	1個
		シャットオフボールバルブ 50mm	1個
2	コードリール	30m（固定位置については別途協議）	1基
3	低水位ストレーナ	ディスクストレーナー D75S （固定位置については別途協議）	1個
4	T型消火栓キー	1個（固定位置については別途協議）	1個
5	消火薬剤	ポリタンク20L	2缶